

ダンスプロジェクトニューヨーク・エリカアコウグリーバルダンスシアター共催
瀬河寛司 スプリングワークショップ 2009

dpny
Dance Project New York

舞踊家、亜甲絵里香の次男である瀬河寛司は、1997年に文化庁派遣在外研修員として渡米して以来、10年以上に渡りニューヨークでの活動を続けてきました。アルビンエイリーIIで踊った後、振付家ロバート・バトル氏が主宰するバトルワークダンスカンパニーやマークモリスダンスグループとの公演を続けるほか、メトロポリタンオペラ出演、ミュージカル「キャッツ」出演、そしてテレビコマーシャル出演などにも出演し、実に幅広い活動をしてきました。また指導者としても全米各地のパレエスクールや芸術学校に招待され指導を続けています。

2006年、NYダンス界各分野で活躍する日本人・アメリカ人ダンサーで構成される団体、ダンスプロジェクトニューヨーク(DPNY)を設立。2008年にはニューヨークにて日本人ダンサーを対象としたスプリングワークショップを開催し、同年夏には岡山・大阪の日本2都市においてサマーワークショップを開催しました。パレエ・モダン・ヒップホップのクラスを提供し、アメリカダンスの魅力を伝えたワークショップには、幼少から大人まで多くのダンサー達が参加し大成功を収めました。

今回はその瀬河寛司が一時帰国中に行う貴重なワークショップとなります。情熱溢れるアメリカモダンダンスと魅力を十分に提供する楽しいクラスとなります。プロを目指す方から初めての方まで、どなたでも参加できます。次世代の日本人ダンサー達にインスピレーションを与え可能性を広げること、また同時にダンスを愛する人々を対象に、純粋にダンスの楽しさそして素晴らしさを分かち合うことを目的としています。

瀬河 寛司 (セガワ カンジ) プロフィール

幼少より母、亜甲絵里香のもとでモダンダンスを始める。

またユニークパレエシアターに在籍し、クラシックパレエを堀内完、堀内充に師事する。97年度文化庁派遣芸術家在外研修員に選出され、渡米。ニューヨークのアルビンエイリースクールにて学ぶ。その後エイリーIIに入団、全米各地約80都市を回り公演して回る。

02年より現在に至るまで振付家ロバート・バトルのバトルワークダンスカンパニーに所属する一方、マーク・モリスダンスグループとの仕事も定期的に行っている。最近ではミハイル・バリシニコフがプロデュースするプロジェクトに招待され、世界的フラメンコダンサー、マリア・パヘス並びに振付家アジャ・バートンとコラボレーションをした。

指導者としては現在までに、アメリカンパレエシアター/エイリースクール/マークモリスダンスセンター/ジョフリーパレエスクール/ステップスオンブロードウェイ、などを含む全米各地の芸術学校、パレエスクールに招待され指導また振付をした。2004年よりステップス・オン・ブロードウェイにてモダン/コンテンポラリージャズクラスの非常勤講師を努めているほか、アメリカンパレエシアター教育部「メイクパレエ」プログラムにて振付指導を担当している。2009年、ユースアメリカグランプリ、フィラデルフィア予選では、コンテンポラリー部門にて振付者賞を受賞した。

在米12年。ダンスプロジェクトニューヨーク代表。

